

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 調査、検討すべき事項とその内容

(1) 中心市街地の現状調査 ①

該当する市町村の中心市街地の沿革（まちの成り立ち）や歴史的・文化的役割を調査する。

① 内容は、沿革・歴史といった内容であり、現状というタイトルと齟齬があります。

(2) 統計的なデータに基づく分析

中心市街地における人口動態の分析をする②。中心市街地の商業の集積状況や大規模集客施設の立地状況を調査して、経済活力を分析する③。

② 単純に人口動態を把握するだけではないのです。それ以上の分析をするのであれば、その内容を書くべきです。

③ これも立地状況を把握するのであって、その情報から何を求めるために、どのような分析を行うのか良く分かりません。

(3) 中心市街地における活動内容の調査 ④

中心市街地における商店街組合など既存の団体とその活動を調査する。

④ 中心市街地であることは、問題の条件なので不要だと思います（内容も同じ）。また、活動内容とだけ記述しても「何の？」と読み手は疑問に感じます。内容からすると、「既存組織に関する調査」ですかね。

2 業務を進める手順

(1) 組織づくり

中心市街地における⑤ 活動団体である商店街振興組

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

合 ⑥ を核とした「まちづくり協議会」を設立する。
 また、地域のプランを活発に議論するため、住民、
 事業主、地権者など幅広く参集することに工夫 ⑦ する。

- ⑤ →「中心市街における」
 ⑥ 地域活動をしているのは、商店会組合とは限らないので既存組織等の表現が良いと思います。→
 「すでに地域活性化に取り組んでいる既存組織（商店街振興組合等）」
 ⑦ 工夫点ではなく、留意点ですね。

(2) 地域の課題分析や方針の設定

中心市街地内の空き家や空き地及び道路整備状況な
どの現況調査を行い、商業集積や活力維持について現
在の課題と今後の課題について分析する ⑧。

都市計画マスタープランなどの 上位計画 ⑨ や地域住
 民の アンケートにより ⑩ 地域の 将来像を設定 ⑪ する。

- ⑧ これを調査・検討すべき事項として書くべきですね。
 「及び」→「並びに」
 活力維持を目的に課題整理するのは理解できますが、商業集積を図ることが課題整理の目的にな
 っていることは違和感があります。
 「現在の課題と今後の課題」→「課題」
 ⑨ →「関連計画」
 ⑩ アンケート調査が必要であれば、調査・検討すべき事項として書くべきです。
 ⑪ 見出しは方針となっており、本文中には将来像とあります。不整合です。

(3) 意識の共有

ワークショップや説明会を開催し、(2) で 分析・

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

調査した課題や将来像を地域内の住民に理解・合意を得る ⑫

⑫ これは手順が逆ではありませんか。ワークショップで意見を得て、それを踏まえて将来像を設定すべきと考えます。あとから、説明しては追認を求めるだけで、合意形成プロセスとして適切とは言えません。

(4) 活動と制度づくり

空き店舗等の利用による チャレンジショップ ⑬ のための空間の提供、1坪オフィス等の提供、資金調達方法の指導等の多様な活動を展開する。また中心市街地の活動は、金融機関からの融資を受けて活動を展開していくのが有効であるため ⑭、「まちづくり協議会」を地域の出資に基づき設立した「まちづくり会社」等の株式会社に変更する等、法人格を持った組織を検討する ⑮

- ⑬ 施策の検討もなく、いきなりチャレンジショップは唐突感があります。また、空き家があることを前提としているため、説明においても釈然としません。
- ⑭ なぜ融資が有効と結論付けているのですか。自己資金や自治体の支援を前提とした資金調達の方が低リスクであり有効ではありませんか。
- ⑮ この内容を見ると借金ができるから、法人格を検討すべきとの論調に見えます。動機として違和感があります。事業規模を拡大するとか、信用力を高めるとかもっと適した動機を書くべきです。さらに、この業務の範囲（時間的スパン）がよく分からないですね。協議会としての活動が軌道に乗って、先に述べたように事業拡大の必要性が生じたとかなら分かりますが、協議会を設置したほぼ同じタイミングで法人格の検討を始めることに違和感があります。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

(5) 持 続 的 活 動 に 向 け た 組 織 構 築

持 続 的 な 組 織 と す る た め 、 ま ち づ くり 会 社 を 都 市 計 画 協 力 団 体 に 移 行 す る ⑩ 。 こ の 時 、 地 主 や 商 業 事 業 者 な ど 地 元 関 係 者 の 関 与 を 継 続 ⑪ す る こ と に 留 意 す る 。

⑩ ⑮と同様。

⑪ まちづくり会社は、「地域の出資により」と述べられているので、資本を引き揚げない限り関与し続けるのではありませんか。また、問題から業務内容（導入とあるので活動を始めたら業務は完了なのでは？）が読み取れないので、何ともいえませんが、この留意事項が業務上の留意点であるかも疑問です。

3 関 係 者 と の 調 整 方 策

(1) 協 議 会

住 民 や 商 業 事 業 者 、 関 係 団 体 、 行 政 等 で 構 成 さ れ る 協 議 会 を 設 置 し 、 迅 速 、 円 滑 な 意 思 決 定 を 図 る ⑫ 。

⑫ 協議会を設置することは、すでに記載済みです。また、協議会の設置をすることのみをもって、迅速、円滑な意思決定ができるとの主張も理解できません。

(2) 民 間 事 業 者 へ の 情 報 提 供

計 画 段 階 か ら 積 極 的 に 情 報 提 供 を 行 い 、 資 金 や ノ ウ ハ ウ な ど を 提 供 し や す い 環 境 を 作 る ⑬ 。

⑬ 民間事業者は誰に資金を提供するのですか。説明が不十分でスキームが理解できません。さらに、提供しやすい環境を作るでは、説明になっていません。何をどのように作るのか説明しましょう。

(3) ア ン ケ ー ト 調 査

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

中心市街地の住民に対し、利用満足度や商業集積へ
要望事項などについて アンケート調査を行い、結果を
活動内容へ反映する ㉔。 以上

㉔ アンケートは調査手法であり、調整方策と言えるか疑義があります。